

立正大学熊谷キャンパス・マスタープラン

所在地： 埼玉県熊谷市
 発注者： 立正大学学園
 期間： 2017-2018年
 対象区域： 立正大学 熊谷キャンパス(約351,200m²)
 業務概要： 現況調査および課題整理
 基本方針および整備計画の検討
 デザインガイドラインの検討
 ファシリティマネジメントの検討
 アクションプランの検討

立正大学熊谷キャンパスは、建築家横文彦氏のマスターデザインのおかげで時代のニーズに応え個別の施設整備を重ねてきたが、2017年に熊谷キャンパス開設50周年という節目にあたり、キャンパス整備を総合的に推進しキャンパス自体の魅力を発信するために、キャンパス・マスタープランを策定した。

策定に際しては、当初のマスターデザインの理念を再検証したうえで、大学に対する新たな社会の要請に応えるとともに、立正大学の建学の精神や教育理念に基づき、豊かな自然環境を活かし、様々な交流が生まれる、これからの時代の大学のミッションを体現したキャンパス環境再生の将来ビジョンを描くことを目指した。

キャンパスの魅力が感じられるキャンパスを形成するための基本方針、基本骨格とゾーニングを打ち出し、歩行者や自転車優先の交通計画、広大な敷地と豊かな自然環境を活かしたオープンスペース計画、豊かな人間性や社会性を育むキャンパス commons 計画等を策定し、マスタープラン実現に向けてのアクションプランもまとめた。

■基本骨格とゾーニング

■基本骨格とゾーニングの考え方

- キャンパスの歴史を受け継ぐ基本骨格
キャンパスが創設された当初のキャンパスを歴史的に継承するという。キャンパス建設初期の歴史を受け継ぎ、キャンパスコアから放射状に広がる道路をキャンパス空間の基本骨格と位置付ける。また、基本骨格を軸とした大学のイメージを明確にして整備する。
- キャンパスの魅力を際立たせる土地利用
キャンパスの魅力を際立たせる土地利用を推進する。キャンパスコアから放射状に広がる道路をキャンパス空間の基本骨格と位置付ける。また、基本骨格を軸とした大学のイメージを明確にして整備する。
- 基本骨格とゾーニング
キャンパスの基本骨格に、多様な交流を促すキャンパス commons を内包する建物、広場、広場等を配置すること。キャンパスコアから放射状に広がる道路をキャンパス空間の基本骨格と位置付ける。また、基本骨格を軸とした大学のイメージを明確にして整備する。

ゾーニング

- アカデミックゾーン**
学生、教職員や地域住民の交流の場となる「立正 commons」や学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。また、学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。また、学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。
- レジデンスゾーン**
学生生活や学業活動としてのユニダンスの交流や学生交流の場となる「立正 commons」や学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。また、学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。
- フォレストゾーン**
豊かな自然環境を活かした交流の場となる「立正 commons」や学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。また、学生交流の場となる「学生交流広場」を配置する。

■歩行者・自転車優先のキャンパスをつくる (交通計画)

北ゲートの整備
施設整備とあわせた駐車場からのアクセス路の整備
地域連携ゾーンとキャンパスプラザを結ぶ「ノース・モール」の整備
メインゲートから水路南側へのアクセス経路のバリアフリー化
ユニダンス前道路のバリアフリー化
南ゲートの整備

■「新ライブラリー・ミュージアム」整備とあわせた建物間を結ぶ廊下やオープンスペースの整備
 ■車止めの見直し等による多目的コート以西との空間的つながりの回復
 ■水路南北を結ぶ、わかりやすい骨格軸となる「サウス・モール」の創出

● 主な主要動線
 ● その他の主要動線
 ● 回遊動線 (緑道は建物内部)
 ● 緑地内トレイル
 ● サイクリングコース
 ● 駐輪場(既存)
 ● サイクルポート(80)
 ● 歩行者ゲート
 ● 自転車ゲート
 ● 駐輪場等の出入口
 ● バス停

■キャンパス・マスタープランの実現に向けてアクションプラン(10年計画)

■学生や地域住民の居場所となる「立正 commons」として改修
 ■「ノース・モール」の修景
 ■地域利用も可能なホール等への改修
 ■利用しやすい広場への再整備

■法学部移転後の空きスペースの有効活用
 ■学びと交流の場となる「新ライブラリー・ミュージアム」の整備
 ■研究・実習棟の予定地(整備に伴うキャンパス全体の機能の再編)
 ■投資先としてのユニダンスの改修

■「サウス・モール」の修景

■地域連携機能の予定地
 ■「ノース・モール」の修景
 ■地域利用も可能なホール等への改修
 ■利用しやすい広場への再整備

■新設を検討
 ■改修を検討
 ■機能の再編を検討
 ■保存・活用を検討
 ■RILLステーションの検討

■将来の建物予定地
 ■既存建物
 ■解体建物(案)

● 歩行者ゲート
 ● 自転車ゲート
 ● バス停

■広大な敷地と豊かな自然環境を活かしたキャンパスをつくる (オープンスペース計画)

■ランニングコースの整備
 ■クロスカントリーコースの整備
 ■駐車場の景観形成
 ■「ノース・モール」や北ゲートの修景
 ■「センター・モール」の修景
 ■利用しやすい広場への再整備

■雑木林の適正な管理・保全・活用
 ■フィールドアスレチック等の整備の検討

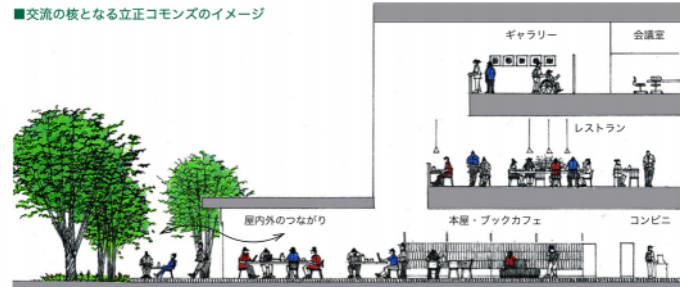
■ユニダンス前道路のバリアフリー化
 ■南ゲートの修景
 ■「サウス・モール」や南ゲートの修景

■駐車場の景観形成

● まもる・育てる緑
 ● つくる・増やす緑
 ● 駐車場の景観形成
 ● 屋外キャンパス commons
 ● クロスカントリーコース
 ● ランニングコース
 ● RILLステーション

● 骨格をつくる草木
 ● 特徴をつくるサクラ
 ● 歩行者ゲート
 ● 自転車ゲート
 ● バス停

■交流の核となる立正 commons のイメージ



■RILLステーションのイメージ

